

大城興業 株式会社

全てのトラックのドラレコ、GPSの位置情報をクラウド上でリアルタイムに把握できるシステム導入

突発の配送依頼に対して、どの車に配車すれば、
いいかすぐに判断できるようになった。

1 従来の課題

Task

当社の運輸事業で取り扱が多いのは鋳造品ですが、鋳造品は一品一様で手作りであり、オーダー製造のため完成時期が見えにくく、熱処理や手直しの



ため、別工場に運搬するなど急な依頼が多いのが特徴です。急な依頼に備えて予備のトラックを空けておくわけにもいかず、急な依頼があった場合、まず全てのドライバーの位置情報を電話で把握して、それからどのドライバーが次の仕事に適任なのか、効率が良いのかの判断をしなければならぬなどリアルタイムでの位置情報が把握できないことや、渋滞情報、荷物情報、次回配送情報、配車変更情報を電話連絡でしか把握できないことが課題でした。

2 取組概要

Approach

そのため、当日、前日の急な依頼に対応できるように、クラウド上で全てのドライバーの位置・運行情報が把握できるシステムを導入し、どのドライバーが突発の配送に適任か、一番効率が良いルートはどこかの判断をリアルタイムで把握することができ

るようにしました。非効率な業務による時間の節約にも大きく貢献するとともに、顧客ニーズへの素早い対応により企業価値の向上にもつながっています。



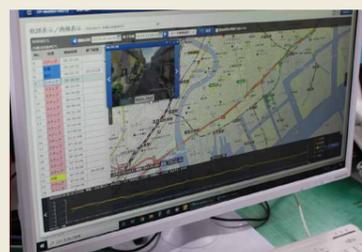
車載システム

3 実施効果

Effect

最適な配送ルートを把握することにより、適切な発着時間が把握できるようになったことで待機時間が減るとともに、アイドリング時間の削減により燃料の使用量が減るといった副次的な効果も見られました。

導入したドライブレコーダーには、運行支援サービスとして速度超過時の警告機能が



運行管理者によりリアルタイムで位置・運行情報が把握可能



COMPANY PROFILE

- 業種 運輸事業、組立事業
- 事業内容 日本全国への運搬・運送・横引き業務、アルミフレームの組立を中心とする生産材、設備の組立調整及び出張調整業務
- 設立 1952年11月
- 代表者 代表取締役社長 大城 清隆
- 所在地 川崎市川崎区浅田4丁目15番13号
- 従業員数 29名

<http://www.ohshiro-kk.co.jp/>



ついており、ドライバーの安全とエコドライブへの意識向上など業務時間の削減以外にも副次的な良い効果が発生しています。時間外就業時間は確実に減っており、帰庫時間が早まったため、車両の点検や、清掃に充てる時間が増え、職場環境の改善にもつながっています。

クラウド管理システムの導入による効果

運行管理者とドライバーの連絡業務の削減時間数
5分/週×(8名)40分/週=200分

非効率な配送時間の削減時間数
1週間あたりの総削減時間=100分

無駄なルート運行時間及び休憩時間の削減時間数
30分/週×(8名)=240分

成功要因

当日、前日の急な依頼が多いという課題が明確であり、クラウド上で全てのドライバーの位置情報が把握できるシステムをスムーズに導入できた点。

社員の声

ドライブレコーダーによって、スピード、急発進、急ブレーキなどが記録されるので、安全運転の意識付けにつながり、新人のときにつきやすい運転の癖に気付くことができ、運転レベルの標準化が進んでいます。

導入したシステムは、電話だけでなく、メールでメッセージを送ることもできるので運転の安全性にも寄与しています。

導入したシステムについて帰庫後のドライバー同士の話しのネタにもなり、コミュニケーションの密度が高まりました。

今後の展開

ドライバー同士の位置情報を共有できるようなソフトを導入することにより、荷物の状況も把握することで、近くにいるドライバーの協力を得ることや、荷物の貸し借り等ドライバー同士のコミュニケーションが強化され、さらなる業務時間の削減が期待できます。また、管理者側でタブレットを導入し、通知をタブレットへ変更することで、ペーパーレスに加え、管理者側からドライバーへのより迅速で適格なオーダーが可能となり、すきま時間の削減につながると期待しています。

クラウド上で全てのドライバーの位置情報が把握できるシステムと全車両へデジタルタコグラフを導入したことで、無駄な残業や非効率な業務による時間の節約につながり、就業時間短縮を実現できました。それと同時にデジタルタコグラフで安全運転評価の点数が出ることで、安全運転への意識付けが進みました。この点数はボーナス査定にも連動しているため、社員への評価と還元にもつながっています。

今回の取組により生まれた捻出時間や削減費用、また課題への対応による将来的な削減時間を、残業時間の削減や新規受注の獲得、車両備品等への投資に充当することにより、より良い職場環境と生産性の高い組織体制となるよう、これからも活動して参ります。

代表取締役社長 大城 清隆

